



2023年 8 月期

決算説明資料



Tune the Next

株式会社エッチ・ケー・エス

東証スタンダード
証券コード：7219

1. 当社紹介
2. 決算概況
3. 2023年8月期 連結決算の概要
4. 連結売上実績、および営業利益の推移
5. 連結利益の推移
6. 対前期比 連結経常利益の増減要因
7. 主要な販管費科目の増減
8. 貸借対照表の概要
9. 2023年8月期のトピックス
10. 2023年8月期のおもな新商品
11. 2024年8月期 経営目標

1. 当社紹介

経営理念

感性に訴える
こだわりのもの造りを通じて
お客様のライフスタイルを
より個性豊かなものに演出する事に
挑戦し続ける。

経営方針

1. お客様の立場で行動する
2. 全ての品質を向上する
3. 世界的視野で行動する
4. 市場は自ら創造する
5. 環境との調和を図る

行動方針

1. プロ意識を持とう！
今の自分の仕事レベルに自信が持てるか
今やっている仕事でお客様が満足できるか
常に目標意識を持って前向きに行動しよう！
常に競争意識を持って自分のレベルを高めていこう！
2. 情報を共有化しよう！
良い商品を創るためには会社の連携が必要
自らの役割・責任を明確にし、良い商品を作るために
コミュニケーションを活発にしよう！
3. 魅力ある会社にしよう！
お客様の満足度は、良い商品、良いサービスから生まれ、
良い商品、良いサービスは社員の満足度から生まれる。
会社の将来像を自分たちで造りあげ、
自ら行動を起こし魅力ある会社にしよう！

会社名 **株式会社エッチ・ケー・エス**

本社所在地 **静岡県富士宮市上井出2266番地**

設立 **1973年10月3日**

資本金 **878百万円**

代表者 **代表取締役社長 水口 大輔**

上場証券取引所 **東京証券取引所 スタンダード市場
(証券コード 7219)**

従業員数 **383名(連結)
(外、平均臨時雇用者数 41名)**

主な事業内容 **自動車部品の製造、販売**

主な国内子会社 **日生工業株式会社
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー**

主な海外子会社 **HKS USA, INC.、HKS EUROPE LIMITED、
HKS(Thailand) Co., Ltd.、HKS-IT Co., Ltd.
艾驰楷时(上海)汽车科技有限公司(HKS上海)**

1. 当社紹介(事業の紹介)



オートアフター マーケット事業

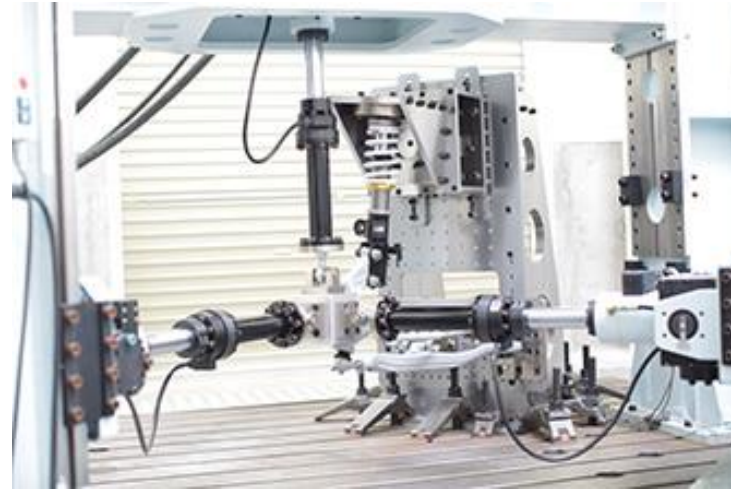
トータルバランスチューニング

アフターマーケット向けのチューニングのパイオニア企業として、事業内容は多岐にわたります。オリジナルマフラーやサスペンション、電子制御部品やエンジンパーツの設計・開発・製造などをはじめ、とりわけエンジン開発で培ったノウハウと実績が私たちの事業領域をさらに押し広げています。それは大排気量エンジン搭載の高級車モデルのチューニングをねらうスーパーチャージャーの開発であり、個性溢れる大人のチューニングを視野に入れた取り組みです。エンジニアの発想で常にいちばん新しいものを考え、カタチにするエッチ・ケー・エス。クルマの進化を真摯に見つめ、常に最高のドライビングパフォーマンスを引き出し、お客様の喜びを極大化します。



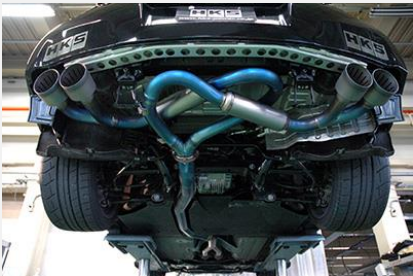
エキゾーストパーツ・サスペンション・過給器他 OEM事業、機械加工受託事業

ISO9001認証取得、品質に基づいたモノづくり



自動車用アフターマーケットのチューニングで培われた技術を生かし、主要自動車メーカー様などへの部品のOEM供給を行っております。マフラーの自動車メーカー様での純正採用。電子制御部品の採用、スーパーチャージャー・ターボチャージャーの純正採用など、各分野でのアフターで培った技術が自動車メーカー様をはじめ、自動車に限らず、マリジェット用のスーパーチャージャー等にも採用されております。HKSでは自社での研究、開発、自社生産設備を有し、ISO9001認証取得済みの工場での品質に基づいたモノづくりを行い、各種メーカー様のニーズにお応えいたします。

主要なオートアフターマーケットパーツ



マフラー商材
(SUPERIOR spec R)



サスペンション商材
(HIPERMAX Performance Package)



ターボ・冷却商材
(Bolt on Turbo Kit)



エンジン商材
(Short Block)



用品系商材
(Carbon Racing Suction)



電子系商材
(EVC 7)

1. 当社紹介(事業の紹介)

IoT事業

IoT車載通信機的设计、開発、製造、販売事業

HKS IoTコネクティッドサービスを、専門ノウハウをもって構築したIoT車載器HBASシリーズにて展開しています。HBASシリーズには各種センサが搭載されています。搭載の各センサで車の位置や速度の変化、急加速の回数、車の傾き等を検出します。ドライブレコーダモデルでは、360°カメラからの映像を画像処理し、事故等の衝撃時の映像に加え、進行方向からの飛び出し、ドライバーの「ながら運転」などの注目すべき映像のみを抽出可能です。これらの情報や映像は、LTE通信で直接クラウドサーバーやスマートフォン等にデータを送信するので、SDカードの抜き差しが煩わしさがありません。

また、Option Adapterを使用すれば、通信機能を持たない様々なデバイスと繋げることができますので、IoTデバイスとしてご使用頂けます。



置き去り防止装置「MAMORU」



研究開発分野



排気ガスを利用した発電機 HKS TURBO GENERATOR

エンジンでの燃焼後、そのまま捨てられる排気ガスの熱エネルギー(排気損失)を電気エネルギーに転換し、回生利用することで内燃機関の熱効率を高める装置を開発しています。

バッテリー事業分野

EVトラック向け 交換式バッテリーパック

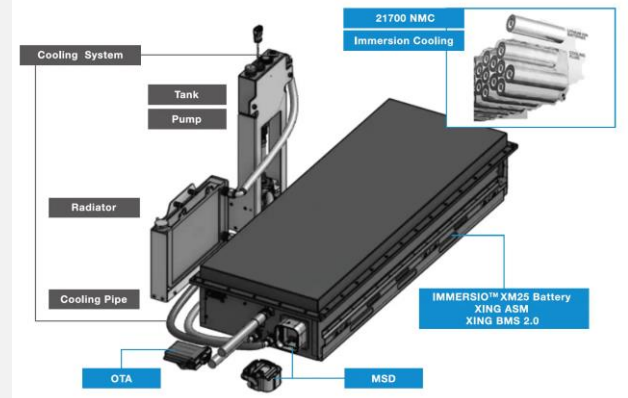
環境省委託事業「バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組合せによるセクターカップリング実証事業」用交換式バッテリーパックに参画し、開発を進めています。



バッテリー事業分野

EV用 液浸冷却バッテリー

液浸冷却バッテリーパックの開発を、協業関係にある台湾のXING Mobility社と進めています。



2. 決算概況



当期の概況	当社グループが主とするアフターマーケットをとりまく環境は、ウィズコロナにともなう消費行動の多様化等で、ユーザーの消費行動に変化の兆しがみられる。アフターマーケット以外の分野でも、製造受託、開発受託事業ともに、コロナ禍に伴う委託企業の生産調整等の影響等が未だに残る。このような環境下、当社は、タイムリーな新製品の市場投入に加え、重点商材であるマフラー・サスペンションを中心に積極的な販促戦略を展開、国内市場のみならず、海外販路、特に北米、中国にて売上を伸ばした。
優先的に対処すべき課題	WHOが新型コロナウイルスの感染拡大を受けて発令していた「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態の宣言」を終了し、日本でも新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に変更されるなど、同感染症に関する行動制限の緩和や社会経済活動の正常化が世界的に進展。これにより、今まで制約されていた旅行、外食、アミューズメントへの支出等、ユーザーの消費行動も多様化していくことが予想され、巣ごもり消費の影響で堅調に推移していた当社業績にも影響を及ぼす可能性がある。当社は海外販路の開拓やターゲットとする車両カテゴリの拡充、海外現地車両への対応等に注力し、売上の裾野を拡げていくこと等でこれに対応する。
売上の状況	当社グループが主とするアフターマーケット市場では、タイムリーな新製品の投入の成果に加え、主に米国にて売上が想定以上に伸長したこと、および前期の下半期に、ゼロコロナ政策の影響で出荷が滞った中国市場向けの出荷量が回復したこと等により売上は伸長。反面、アフターマーケット以外の分野では、一部の製品にて委託企業の生産調整の影響等による受注減があったほか、受託開発売上も減少したが、売上全体では前期比7.1増の9,241百万円と上伸。
利益の状況	販売費及び一般管理費は、創業50周年記念行事等の開催による広告宣伝費の増加や、昇給等による人件費の増加、およびウィズコロナや行動制限の緩和による旅費交通費の増加等により、前期比180百万円の増加となったが、売上高の増加に加え、内製品売上高の増加による工場稼働率の上昇等で、連結売上総利益率が前期比で上昇し、営業利益は前期比19.7%増の637百万円となった。しかし、経常利益は主として前期比での為替の状況を要因に、前期比0.7%増の725百万円と増益幅を縮小、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別利益として計上した土地の売却益がなくなったこと等により、前期比9.1%減の451百万円となった。

3. 2023年8月期 連結決算の概要 (単位：百万円)

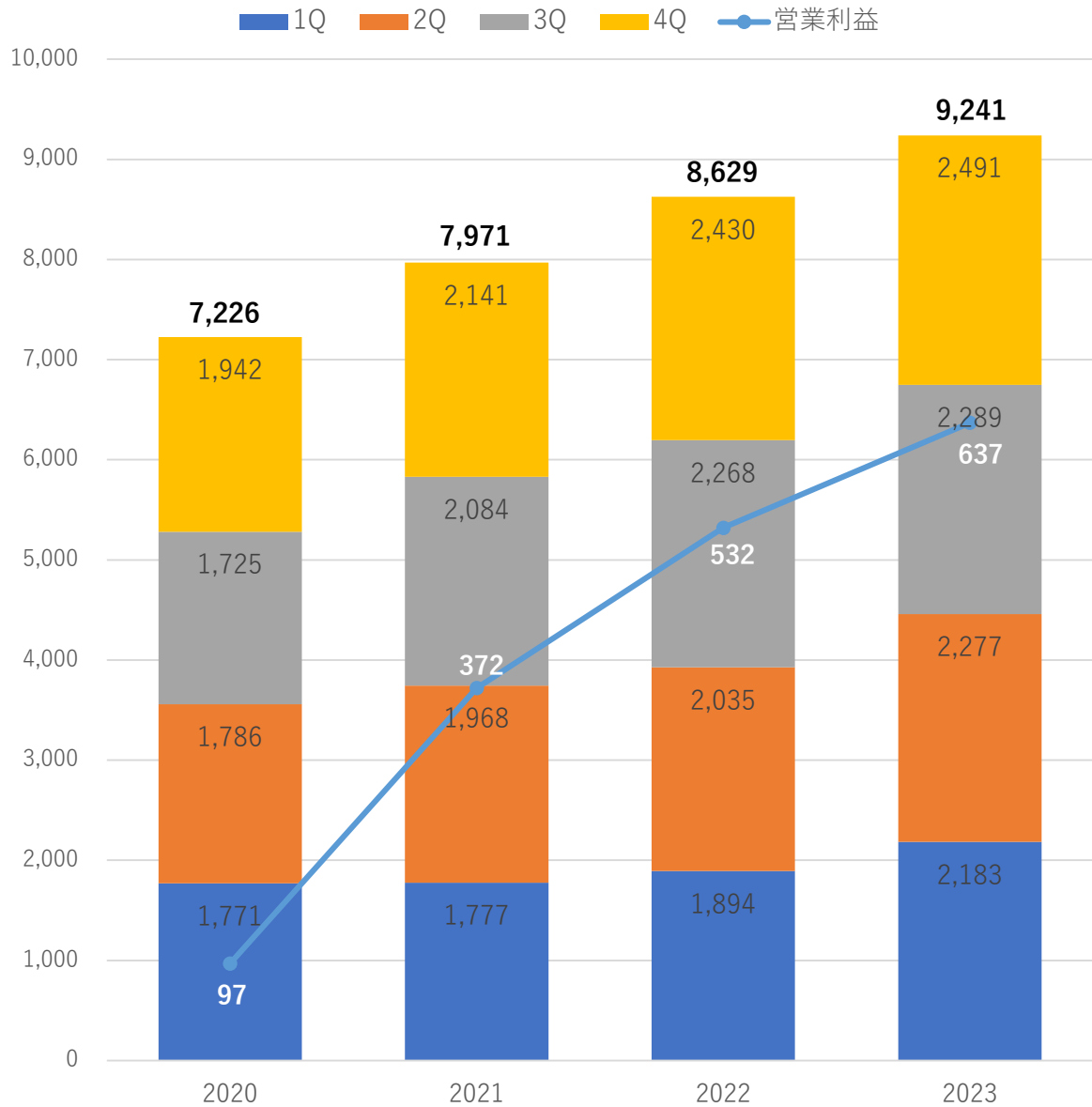
(単位：百万円)

	2020年8月期		2021年8月期		2022年8月期		2023年8月期		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	7,226	100.0%	7,971	100.0%	8,629	100.0%	9,241	100.0%	107.1%
売上総利益	2,726	37.7%	3,114	39.1%	3,496	40.5%	3,781	40.9%	108.2%
販売費及び一般管理費	2,628	36.4%	2,741	34.4%	2,963	34.3%	3,144	34.0%	106.1%
営業利益	97	1.3%	372	4.7%	532	6.2%	637	6.9%	119.7%
経常利益	140	1.9%	455	5.7%	720	8.3%	725	7.9%	100.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	148	2.0%	352	4.4%	496	5.7%	451	4.9%	90.9%
一株当たり当期純利益 (円)	104.90		248.93		350.65		318.78		
一株当たり純資産額 (円)	6,091.44		6,344.69		6,717.44		7,040.05		
一株当たり配当金 (円)	30.00		36.00		50.00		80.00		
株価 (円) ※	1,633		1,850		2,017		2,387		
P B R (倍) ※	0.27		0.29		0.30		0.34		
R O E (%)	1.7		3.9		5.2		4.5		

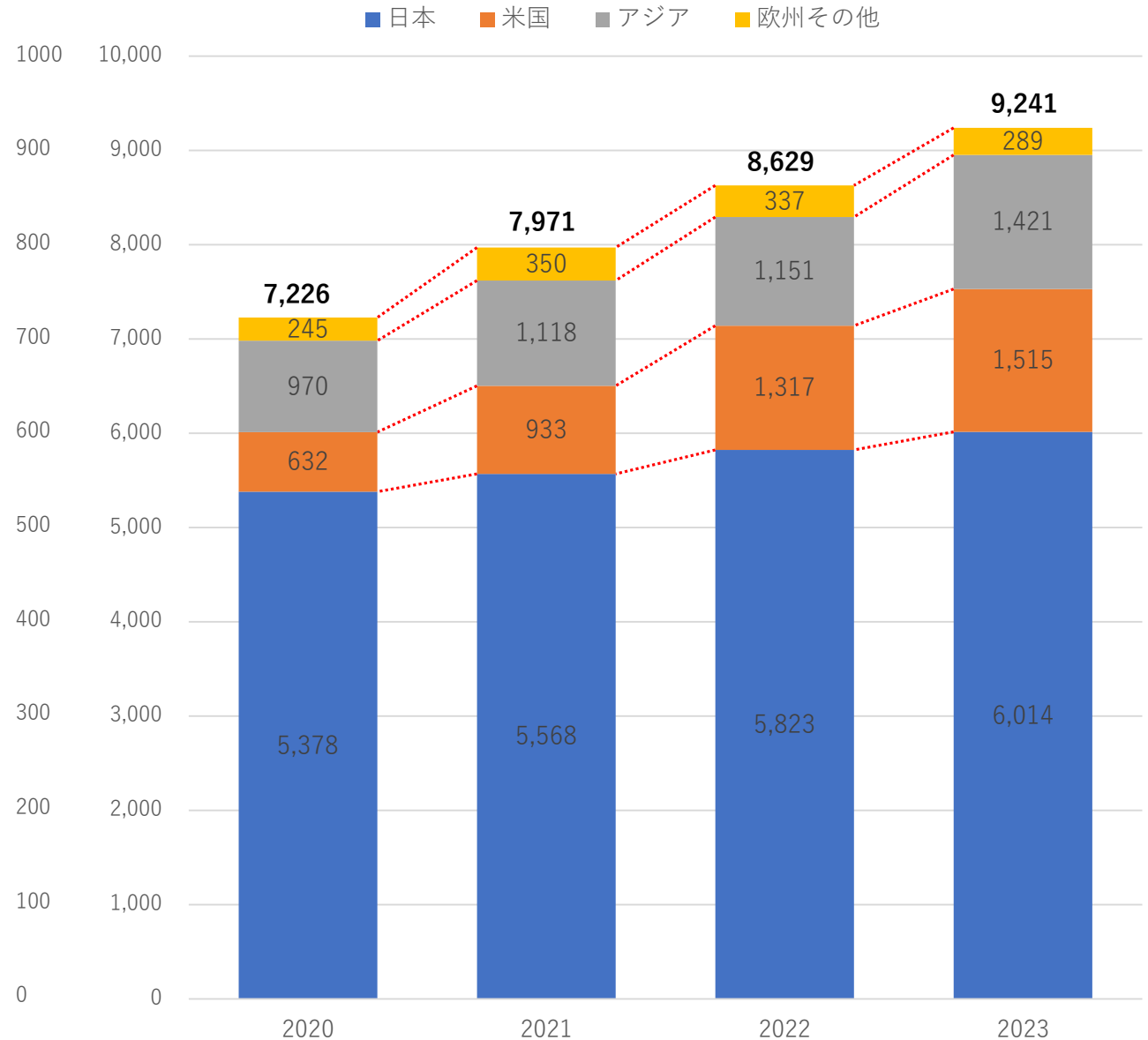
※当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株価およびPBRを表しています。

4. 連結売上実績、および営業利益の推移

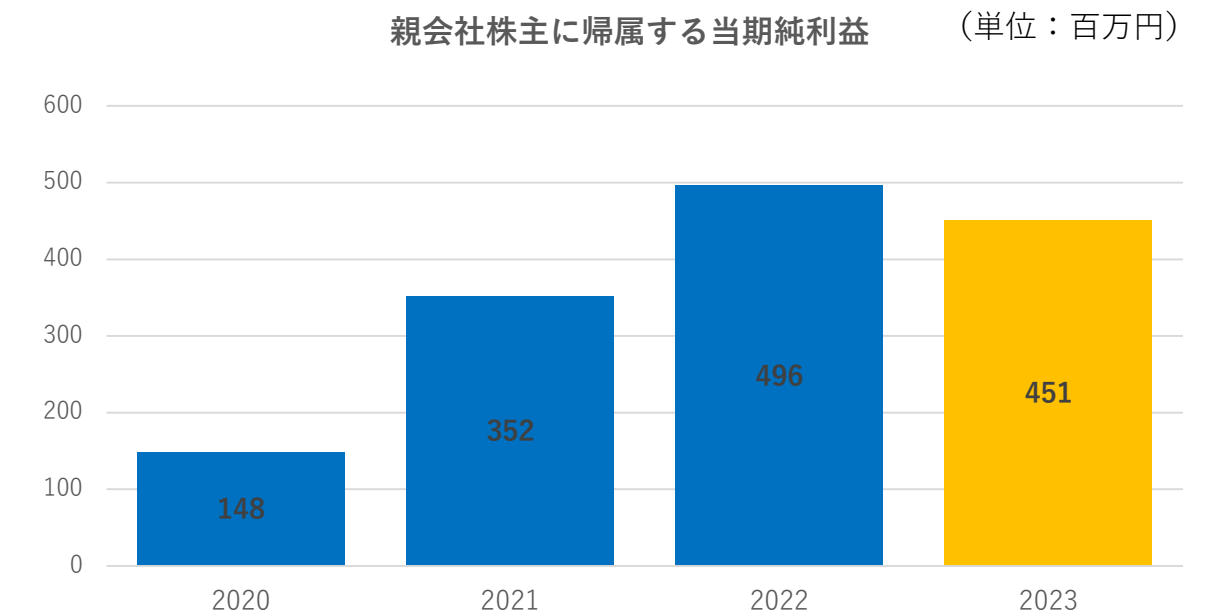
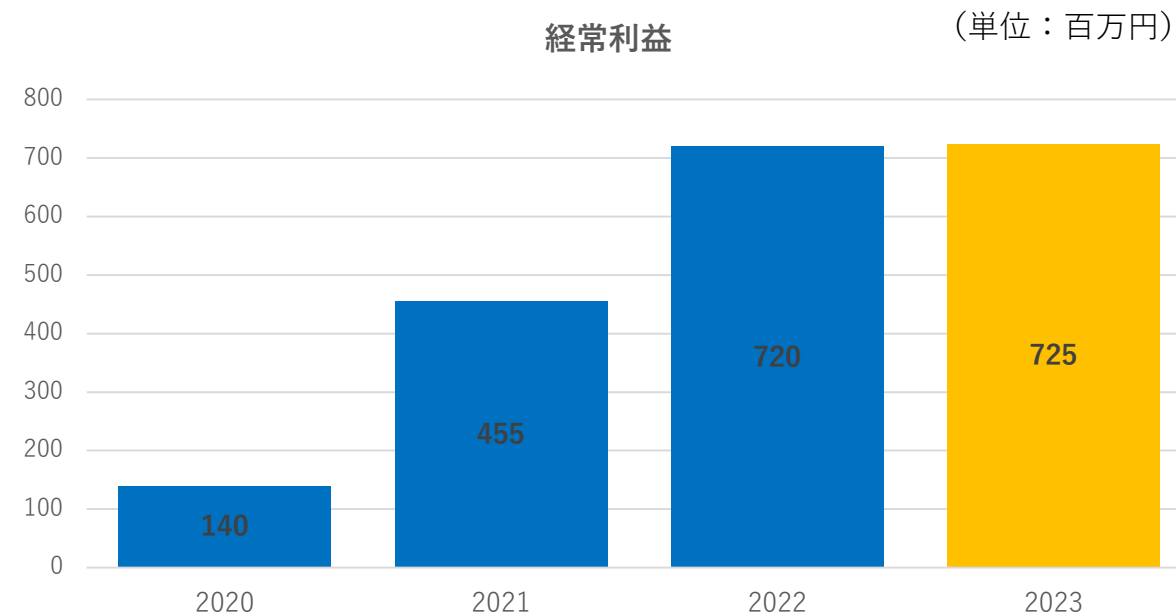
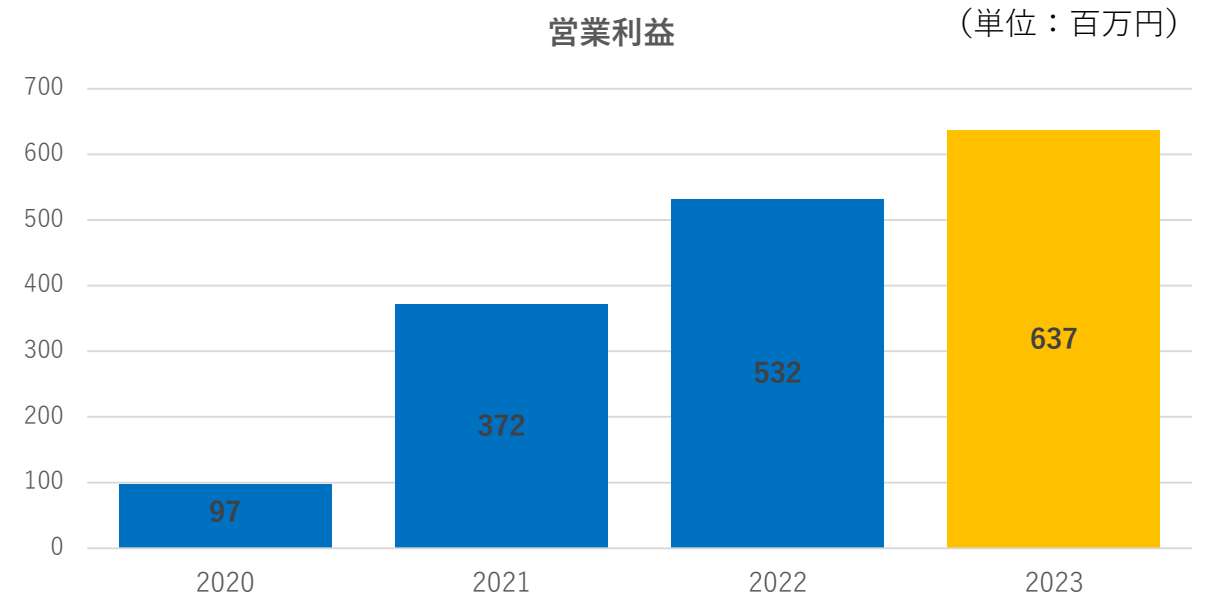
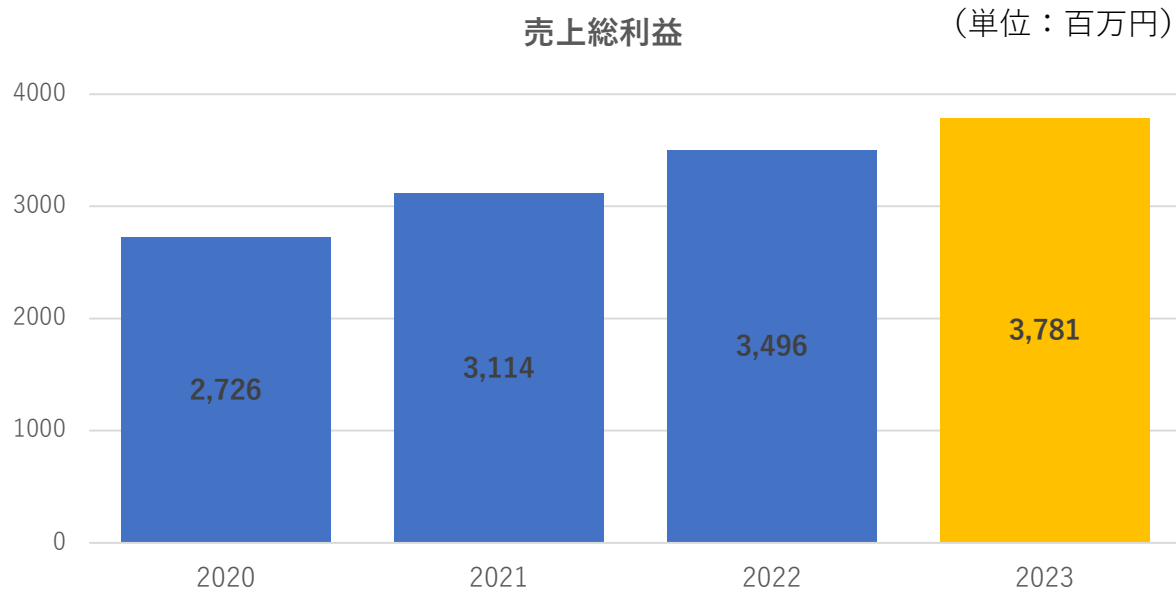
四半期業績の推移 (単位:百万円)



地域別売上実績の推移 (単位:百万円)

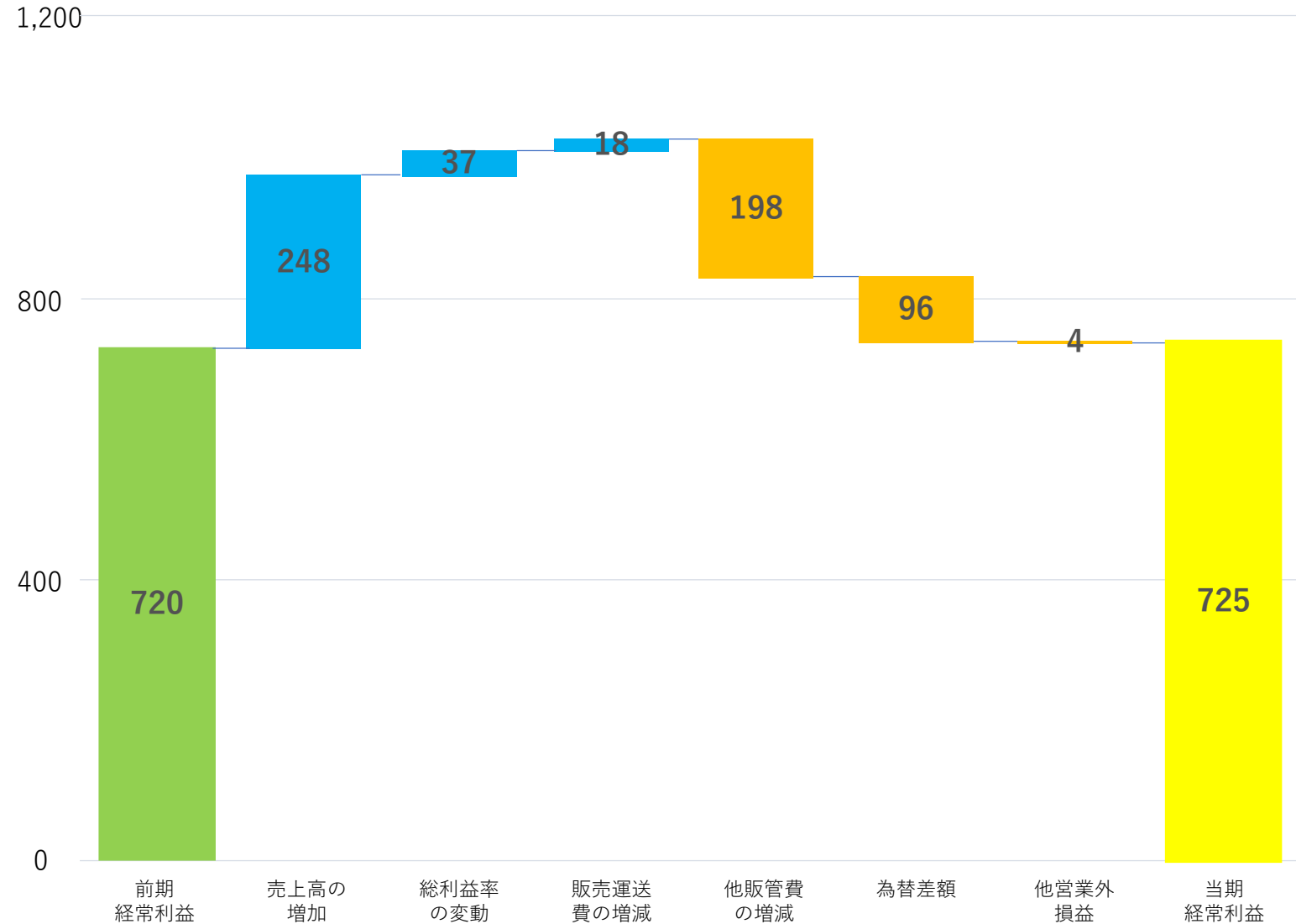


5. 連結利益の推移（単位：百万円）



6. 対前期比 連結経常利益の増減要因（単位：百万円）

（単位：百万円）



経常利益変動要因	影響額 (百万)	備考
売上高の増加	248	新商品効果や巣ごもり消費等の影響で、売上は伸長
売上総利益率の変動	37	原材料の値上げはあるが、価格転嫁や工場稼働率の上昇等で、売上総利益率は良化
販売運送費の増減	18	海運コストの上昇と輸出量の増加が影響
その他販管費の増減	▲ 198	主な増減要因については次頁を参照
為替差額	▲ 96	前年度と当年度の差額
その他営業外損益	▲ 4	前年度と当年度の差額

7. 主要な販管費科目の増減（単位：百万円）

（単位：百万円）

	2022/8期	2023/8期	増減額	主な要因
販売運送費	291	273	▲18	輸出量は増加したが、運賃相場の下落により輸送コストは減少
人件費	1,043	1,077	34	人員増、昇給による
広告宣伝費	150	202	52	主に50周年記念イベント等の開催（東京オートサロンでの記念ブース等）
減価償却費	276	256	▲20	減価償却が進んだことによるコスト減
その他	1,203	1,333	130	旅費交通費、販売促進費、水道光熱費等の増加
合計	2,963	3,144	180	<ul style="list-style-type: none"> ・販売運送費の減少 ▲18 ・その他販管費の増加 +198 の合算値

(単位：百万円)

8. 貸借対照表の概要 (単位：百万円)

	資産		備考
	2022/8 期末	2023/8 期末	
現預金	1,948	1,994	有価証券満期償還による増加 棚卸資産の購入による減少等
売上債権	1,147	1,099	
他流動資産	3,193	3,202	棚卸資産 + 414 有価証券△426
有形固定資産	5,003	5,168	建物及び構築物 (純額) + 79 機械装置及び運搬具 (純額) + 75
無形固定資産	156	153	
投資等	1,641	1,727	投資有価証券 + 70
繰延資産	-	-	
資産合計	13,091	13,345	

	負債・純資産		備考
	2022/8 期末	2023/8 期末	
仕入債務	935	942	
短期借入金	567	480	
他流動負債	1,006	1,020	未払法人税等 + 52
長期借入金	552	386	
他固定負債	508	524	
負債合計	3,571	3,571	
純資産合計	9,520	9,990	未処分利益 + 380 為替換算調整勘定 + 50
負債純資産合計	13,091	13,091	

9. 2023年8月期のトピックス



TOPIX 当社直営サテライトショップを、静岡県浜松市にオープン

当社は2023年6月、新たなサテライトショップとなる「HKS GATE HAMAMATSU」を、スーパーオートバックス浜松（静岡県浜松市中区）の売り場内にオープンしました。

パーツを実際に『見て・触って・相談できる』をコンセプトに、お客様とのお縁を繋ぐ門「GATE」として「HKS GATE TOKYO BAY/A PIT AUTOBACS SHNONOME内」に次ぐ2号店となります。



TOPIX 置き去り防止装置「MAMORU」を上市

国土交通省のガイドラインに適合した送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置、『HKS送迎バス安全見守り装置 MAMORU』を2023年3月より発売。キーを抜かない限りスイッチ操作等をする必要のない「キー抜き取り連動式」を採用し、送迎をしていない、給油や掃除・整備等でのエンジン停止時の使い勝手を向上しました。360°ドライブレコーダーと連動するモデルもラインアップ。

降車時確認式 + 人感センサ (補助機能) で安心をプラス

取付部品	警報と通知	構成部品
<ul style="list-style-type: none"> 人感センサ 確認ボタン ステータスディスプレイ 	<ul style="list-style-type: none"> クラクション警報 緊急メール通知 	<ul style="list-style-type: none"> MAMORU 1台 確認ボタン 1台 人感センサ 1台 ステータスディスプレイ 1台

BabyTech® Awards 2023 「送迎用バス置き去り防止を支援する安全装置部門」にて、優秀賞を受賞しました。 https://babytech.jp/2023/10/bta2023_winner/

TOPIX タイ子会社のHKS-ITにて、工場の増築が完了

2022年12月、タイ王国の当社子会社 HKS-IT Co., Ltd. における工場の増築が完了しました。床面積は約2,800㎡から約4,500㎡へと拡張され、月あたりのマフラー生産能力は、拡張前の月1,500本から、3年以内に倍の月3,000本へと増加する見込みです。

今後は、自動車用OEM部品の量産体制の強化と、国内工場からの生産移管を進めてまいります。



TOPIX 「TOKYO AUTO SALON KUALA LUMPUR」に出展

2023年6月9日から11日にかけて、マレーシア クアラルンプールにて初開催となる「TOKYO AUTO SALON KUALA LUMPUR 2023」にて、「TOKYO AUTO SALON」でのグランプリ車両を含む、HKS コンセプター「HKS GR SUPRA AERO」「HKS Driving Performer GR86 TYPE-R」の2台を展示いたしました。(写真はHKS GR SUPRA AERO)



TOPIX 全日本ダートトライアル選手権への参戦

ダートトライアルという新たな競技に参戦することで、開発・メカニックの人材育成と、自社商品へのさらなる技術フィードバックにつなげることをめざし、2023年シーズン、全日本ダートトライアル選手権にシリーズ参戦。本格参戦初年度にして、シリーズチャンピオンを獲得しました。

TOPIX バッテリー交換式 EV 小型トラックを用いた、実証実験の開始について

昨年環境省より公募・採択された「令和3年度バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業」において、共同実施企業と開発したバッテリー交換式小型EVトラックとそれらに搭載するバッテリーパック、バッテリー交換ステーションを用いて、2022年11月よりファミリーマート店舗向けの配送実証が開始されました。

2台のバッテリー交換式小型EVトラックを用い、バッテリー交換ステーションを設置した埼玉県三郷市にあるファミリーマート三郷中央定温センターを拠点に、埼玉県三郷市と八潮市を中心とするファミリーマートの延べ約80店舗に向けた、おむすびや弁当、サンドイッチなどの中食を中心とした商品の1日3便の店舗配送コースにて実施します。

https://www.hks-global.com/news/221124_EV-truck.pdf

10. 2023年8月期のおもな新商品



新商品

HIPER MAX
Performance Package

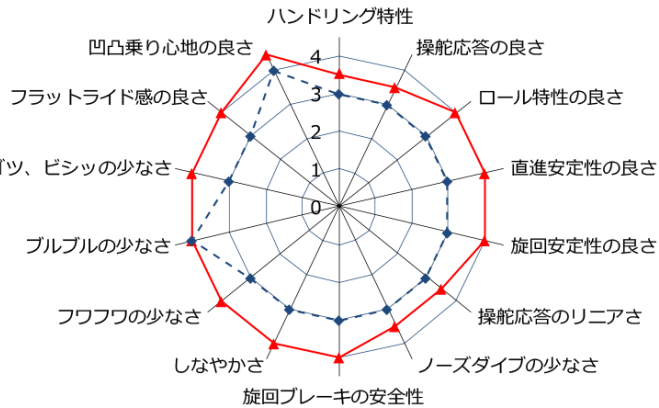
走り心地という新たな価値をさらに究極のレベルまで高めるHKSサスペンション史上初となるこだわりのパッケージ商品です。
パッケージを構成する「HIPERMAX」とヤマハ発動機株式会社製「パフォーマンスダンパー®」は、それぞれ通常市販品とは異なる専用チューニングが施されたパッケージ専用用品で、単に通常品を組み合わせただけでは味わうことのできない上質な乗り味や新たな領域の快適性を実現することができます。



また、一部の車種では、株式会社アイシン製の「ドアスタビライザー」も組みあわせることで、ボディ剛性を向上させ、しっかりとしたハンドリングと応答性を生み出します。

※「PERFORMANCE DAMPER/パフォーマンスダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

—●— パフォーマンスパッケージ —●— HIPERMAX S



「パフォーマンスダンパー®」



「ドアスタビライザー」

新商品

コンプリートエンジン
RB26DETT 3.0L STEP3 VCAM



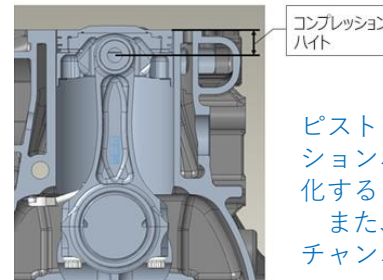
RB26コンプリートエンジンの最高峰モデル。新開発2ピースピストンにより、ブロック高さはそのままストロークアップ&コンロッド長アップを実現し、排気量を3.0L化しました。

3.0L専用クランクは窒化鋼から削り出したフルカウンターで、イオン窒化処理により表面硬度を極限までアップし疲労強度を向上しました。



高トルク化に備え、専用I断面コンロッドを採用し座屈強度を36%向上しました。また、ピストンピンもφ22肉厚アップ品を採用しました。

高出力化によって発生する熱対策として、バルブガイド、シート材を変更し、ソチウム封入式EXバルブ、クーリングチャンネル付ピストンを採用しました。



コンプレッションハイト

ピストンを2ピース化し、ピン位置を高くすることで、コンプレッションハイトを小さくすることが可能となり、これによりハイデッキ化することなくコンロッドを長くし、連桿比を大きくできました。
また、ピストンは313gと超軽量化され、オイル冷却用クーリングチャンネルも有しています。

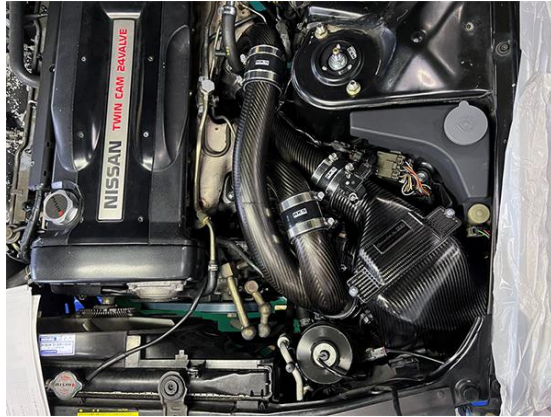
10. 2023年8月期のおもな新商品



新商品 CFRP INTAKE SYSTEM BNR32

惜しまれつつ生産を終了した旧車をより魅力的に、より安心して長くお使い頂く事を目的に、最新のパーツ開発技術、未来に向けた技術を取り入れ、より進化したパーツを開発する、「アドバンストヘリテージコンセプト」

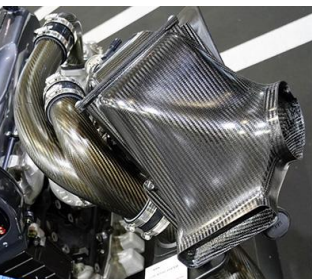
その第1弾として、BNR32 スカイラインGT-R向けに、純正レイアウト各部の効率を徹底的に追求したカーボンインテークシステムを上市しました。



パイピングやエアクリーナーボックスなどの主要部分に、CFRPを採用することで、純正仕様に対し約65%の軽量化を実現。また、高温となる過給後のチャンバーパイプやタービンに近接するサクシジョンパイプには耐熱温度350°C以上の高耐熱プリプレグを採用し、耐熱性向上を図りました。

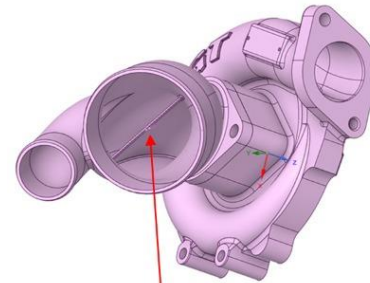


クリーナーボックス本体も、CFRPにて専用設計をおこない軽量化に貢献。エアフィルター表面積も約6%拡大し吸気効率の向上を図りました。またエアフロセンサーは純正流用ではなく専用品とすることでパイプ径を拡大しています。高効率化を実現するためにレイアウト全体をみなおし、ウォッシャータンクも専用品をキットに同梱しています。



サクシジョン容量拡大およびデュアルインテークダクトの採用による外気導入断面積拡大（純正比約2.4倍）により、圧力損失を従来のスペシャルパイピングキット装着時と比較して46%低減しました。（600ps相当時）

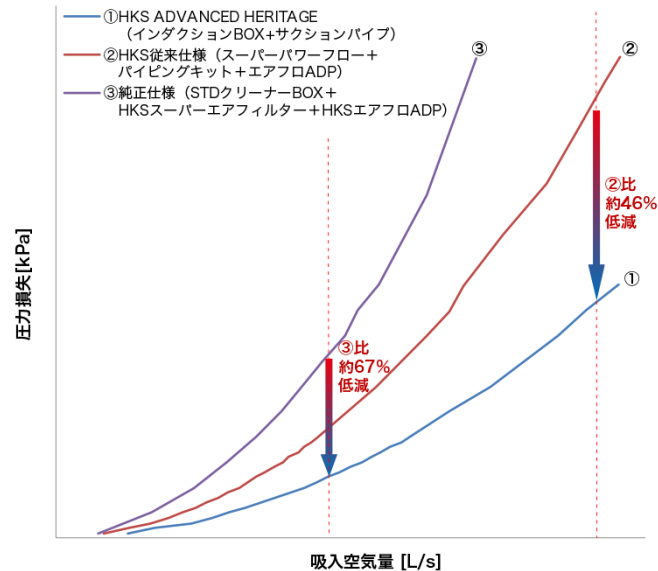
クローズドレイアウト採用により、エンジンルーム内の高温空気取り込みを抑制。WLTCモード走行時における吸気温度上昇をむき出しタイプのスーパーパワーフロー装着時に比べ最大60%低減しました。



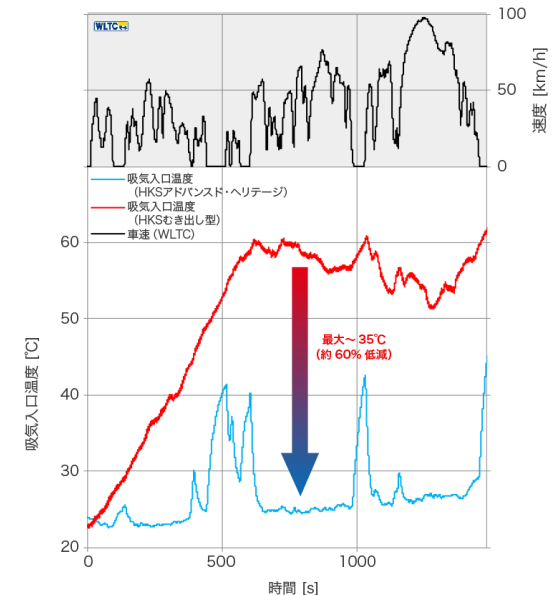
アンチサージプレート

サクシジョンパイプ内にサージ抑制整流板（アンチサージプレート）を設けることにより、RB26ツインターボレイアウトにおける課題であった吸気干渉発生のマージンを拡大しました。

圧力損失比較



WLTCモード走行時における吸気温度推移比較



①自身の経験を皆に共有し、互いに学び合い成長する

- ・従業員は、自身の力量を把握し成長目標を設定、会社はカリキュラムを組んで従業員に学ぶ機会を提供します。
- ・ベテラン社員が培ってきた知識・経験を、若いメンバーに積極的に伝えることのできる環境を作ります。
- ・人事評価制度については、職制からの意見集約結果をまとめ、改定案の協議を開始します。
- ・各従業員が、自部署の職場環境について自ら提案し、改善を進める風土を作ります。

②トラブル対応においても、お客様に感謝される対応を心がける。

- ・お客様からの不具合報告・不具合品はただちに品質保証部門へ展開し、全社にて状況を把握。緊急度区分にならない、即時対応を行います。
- ・問題が起きても失敗から学び、確実な対策を実施し、お客様に感謝される対応を心がけます。
- ・TPM活動を通じ、責任者は現場メンバーと一緒に他部署の取組みを見て学び、自部署、自身の現場に反映させます。

③常にお客様に関心を持ち、お客様を飽きさせない。

- ・定番商品、長く販売している商品のリニューアル・新シリーズ展開を積極的に推進します。
- ・バックオーダーの解消と在庫の適正化を推進。商品ランク毎に在庫目標を設定し、重要商材は安全在庫数の管理を行います。

④新たなお客様に向けた商品を展開し、世界中にHKSファンを増やす。

- ・グローバル展開をすすめるとともに、各拠点で現地車両に向けた商品開発を強化します。
- ・開発部門・営業部門とHKSテクニカルファクトリーが連携し、コンプリートチューニングカーの本格展開を開始します。
- ・スポーツカー向けにとどまらず、新たなカテゴリーへの商材展開で、新たなHKSファンを構築します。
- ・内製工場の利点を活かし、コアなHKSファンが満足する魅せる製品づくりに取り組みます。

⑤地域・社会の役に立つ取組みをすすめる。

- ・地域・社会の役に立つ活動、社会課題解決に向けた商品展開をすすめます。
- ・子供達に向けたHKSブランド認知を強化。将来のクルマ好き、HKSファンを増やす取組みの検討を開始します。